

研修名 マネジメント

平成30年11月19日(月) 10:00~12:30

平成30年11月29日(木) 13:30~16:00

講演・演習 「マネジメント理解」

「教育・保育施設等におけるマネジメントの現状と課題」

「京都式保育人材キャリアパスモデルについて」

「教育・保育施設等におけるリーダーシップの理解」

講師 株式会社エイデル研究所 小林 雄二郎 氏

1 講演要旨

1) マネジメントとは

- ① 主導的当事者として適切な判断ができる意思決定力をつけていくために必要である
- ② 保育所組織におけるモデルの変化
 - ・文鎮型からピラミッド型へ
- ③ 4つの象限のマネジメント
 - ・管理の対象が仕事か人か

2) 福祉経営における現状と課題

- ① 基本理念がマネジメントの根元である
 - ・成果を明らかにし、目標を設定する
- ② 基本理念から方針、目標、計画を具現化
 - ・PDCAサイクルの徹底
 - ・役割分担の明確化
- ③ 福祉の仕事の特質
 - ・対人援助サービスゆえに「人」のウエイトが高い
 - ・マニュアルでカバーには限界があり、理念の浸透が必要である
- ④ 上司に求められる6つの機能について

3) 京都式保育人材キャリアパスモデル

- ① キャリアパスとは
 - ・業務経歴上の道すじ
- ② キャリアパスを求めるねらい
 - ・安心して子育てができる社会の実現のため
 - ・保育士の確保、有資格者の就労、現任職員の離職防止
- ③ 役割分担を明確にすることは、基本理念を具現化する上で統制の取れた効率の良い組織運営の第一歩である



4) 教育・保育施設におけるリーダーシップの理解

① 組織とは

- ・目的を遂行するために複数の人が集まった協働の仕組みであり、シナジー(相乗)効果の向上を求めている

② チームワークとは

- ・ただメンバー間の仲が良いではなく、皆が一体となって目標や共通の課題に向かって一緒に動いている
- ・コミュニケーションルートを確立し、情報を提供する事が不可欠
- ・シナジー効果向上のためにリーダーが必要である

③ 状況対応型リーダーシップ

- ・チームの熟成度によってS1～S4のどの型をとるか変えていくべきである

④ 人の行動を決める3要素

- ・態度・価値観、知識・情報、技術・技能のうち、何が欠けているかで指導すべき内容、助言すべきことが決まる

2 感想

今回の研修を受け、自分の置かれている立場について組織全体の目線で改めて考えることができた。役割分担を明確にすることで組織としての相乗効果が生まれ、結果保育の質を高めていくことにつながることを学び、リーダーシップの重要性を感じる。自園でももっと職員一人ひとりが自分の立場や役割を意識して動き、能力を発揮できるような工夫が必要であると思う。

そのためにチームワークを今後も深めていけるよう日頃からのコミュニケーションを大切に、働きやすい環境や雰囲気を作っていくことも重要である。まず自分が積極的にコミュニケーションを取るよう心掛けながら、リーダーとして頼れる存在になっていきたい。そういった存在が、後輩たちとの橋渡し役になり、保育者間の連携につながっていく。そしてその連携が目指す保育への意思統一や目標達成につながっていくことに期待したい。

自分の仕事を見つめなおすと、まだまだ自分の役割をこなすことに意識が向きがちだが、園の向上につながるよう組織全体にもっと目を向けながら役割を果たしていくようにしたい。

(記録 清心保育園 福村 数馬・上田 智佳子)